



第147号 2019年5月

発行：萩ネットワーク協会

〒758-8555 山口県萩市大字江向 510 萩市役所広報課内

TEL 0838・25・3178 FAX 0838・26・5458

MAIL hagi-network@city.hagi.lg.jp

写真／「羽化したオオミズアオー萩市川上ー」シリーズ「結界」より

主な内容

旧明倫小学校の整備方針決定	P2
須佐駅前に「いかマルシェ」がオープン	P3
兼原信克さんの講演「吉田松陰と日本外交の行方」	P4
萩おもてなし大賞、下瀬信雄展	P5
ズームアップ 重田麻紀さん（東京都）	P6
「茶寮・花南里の庭」馬屋原務本さん（萩市）	P8
長州萩の奥平謙輔と新潟・会津の人々（道迫真吾）	P9

萩市在住の写真家、下瀬信雄さん（瓦町、74歳）は、東京総合写真専門学校で写真を学び、家業の写真館を継ぐべく帰郷して後は、ふるさと萩で暮らす中で、郷土の文化や風土を独自の視点で撮るスタンスを貫いてきました。特に、自然界の中に潜む聖なる領域との境界を浮かび上がらせた写真集「結界」（2014年）は、第34回土門拳賞を受賞し、日本の自然写真の系譜に新たな領域を切り拓いたと評価されています。

「下瀬信雄展」では、卒業制作など初期の作品から「結界」シリーズまで、写真家・下瀬信雄の軌跡をたどります。

山口県立美術館「下瀬信雄展」天地結界
5月23日(木)～7月7日(日)



旧明倫小学校3・4号棟の方針決定 1棟を建物活用、1棟を現状保存

萩市の藤道健二市長は3月19日、萩市江向の観光施設「萩・明倫学舎」として整備する予定だった旧明倫小学校3・4号棟について、総合的に判断した結果、1棟を整備活用し、1棟を現状保存する方針を表明した。

1棟を萩市民・事業者向けに「産業・ひとづくり・交流」の機能を持たせ、もう1棟についても保存に必要な外観・耐震化などの修繕のみを行い、民間事業者の投資などを促す案に決めた。

「産業活力みなぎるまちづくりを支える場」、「子どもから大人まで学び体験できる人づくりの場」、



旧明倫小3号棟、4号棟

「市内外の人がつながる交流・協働の場」をコンセプトに「萩市基本ビジョン」を実現する拠点の一つとして活用を検討していく。

市民アンケートの結果、5案のうち両棟を残す三つの案の合計が6割近くに上がったことや若い世代から積極的な活用を期待する声が多かった点を重視し、「建物2棟を残したい一方で、整備費や維持管理費で、市の負担抑制を図ってほしいということが民意と受け止めた」と理由を説明した。

2棟の整備費は約7億1千万円で、うち国からの補助などを引いた市の実質的負担は2億7千万円以下となる見込み。管理運営費は年間1300万円の見通しだが、賃料収入などで市の負担を減らす。2020年度の整備着手を目指す。

旧明倫小3・4号棟は1935年（昭和10）、萩藩校明倫館跡地に建てられた木造2階建ての校舎で萩市指定文化財。延べ床面積は各棟1770平方メートル。本館と2号館は観光施設「萩・明倫学舎」として、2017年3月から利用されている。

旧明倫小活用案の市民アンケート結果

最多は2棟を解体し発掘せず、建物保存3案で約6割

旧明倫小学校3・4号棟の改修計画を巡り、萩市は2月19日、5案の活用案を示したアンケート結果を公表した。2棟を解体し、跡地を発掘調査せずに更地活用する案が最多で全体の33%、約3分の1に当たる。一方、2棟を残す3案を支持した件数が全体の58%、約6割を占めた。

萩市は、18歳以上の市民から無作為抽出した3千人を対象にアンケートを実施。次の5案から一つを選び、理由や意見の記入欄も設けた。1209人から有効回答（有効回答率40%）があり、結果は次

のとおり。

- ① 2棟とも活用 202人（17%）
- ② 1棟を活用、残り1棟を現状保存 268人（22%）
- ③ 2棟とも現状保存 228人（19%）
- ④ 2棟とも解体し、跡地を発掘調査したうえで活用 112人（9%）
- ⑤ 2棟とも解体し、跡地を発掘調査せずに更地活用 399人（33%）

藤道市長は「壊してもよいという声が意外と多かったが、全体としては2棟を残すことを望む声が多かった。結果を踏まえて総合的に判断したい」と語った。

民間事業者との対話（サウンディング）の実施

萩市では、旧明倫小学校3・4号棟の一部を貸スペース（貸事務所・貸店舗・貸教室等）として、利活用することを検討している。

そこで、市内外の民間事業者との「対話」を通じて広く実現可能なアイデアや民間事業者の参入意欲、参入しやすい公募条件などを調査する「サウンディング」を6月に実施し、また、事前の現地見学会・説明会も5月に開催する。詳しくは、萩市ホームページに募集案内を掲載している。

全国から整備のための寄付金を募集

旧明倫小学校3・4号棟の整備のため、全国から寄付金を募集します。

対象者／萩市内外の個人・法人・団体
募集口数／原則として1口5万円以上

申込方法／所定の申込書により申し込みのうえ、銀行等で払い込み
募集期間／2019年12月27日まで
特典／期間中に5万円以上の寄付

をされた方はお名前（団体寄付は団体名のみ）を寄付者顕彰プレートに掲載

供用開始／21年4月以降（予定）

ふるさと寄付による寄付（萩市外の個人のみ）

ふるさと寄付の用途に「旧明倫小学校3号棟・4号棟の整備」を追加します。

専用の申込書またはふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」

「ふるさとチョイス」から申込み下さい。

ポータルサイトからお申し込みの方は寄付の使い途で「萩市が未来に挑戦するための拠点整備プロジェクト」（旧明倫小学校3号棟・4号棟の整備）の選択肢をお選びください。

ふるさと寄付の場合は「寄付者顕彰プレート」の掲載はございません。

問い合わせ 萩市産業戦略室
(08388・25・3351)

世界50大学の進学者に550万円 萩市内の高校生を対象に奨学金を創設

萩市は、世界大学ランキング上位50校に選ばれた国内外の大学に進学した萩市内の高校卒業生を対象に、1人当たり総額550万円（上限）を給付する奨学金制度を2019年度から導入する。山口県内初の試み。

世界で活躍できる人材育成のほか市内の高校の魅力度アップにつながることを目的としている。対象の大学は、英国の高等教育専門誌などが公表しているランキング3種類を参考に決定する。国内で対象となるのは東京大学と京都大学のみ。

合格者には入学準備金30万円、進学後4年間は授業料などとして毎年130万円（上限）を給付する。20歳以下で、3年間萩市内に住み、市内の高校に在籍することが条件。

藤道健二市長は「萩でグローバルな人材を育成したい。市内の高校の魅力を間接的にサポートする」と説明している。

萩市内には萩高校（奈古分校を含む）、萩商工、萩光塩学院の3校があり、萩高校から1998年度に東大、2019年度に京都大への進学があった。

須佐駅前「いかマルシェ」がオープン 「須佐男命いか」が買える店！

JR須佐駅前の「ふれあいステーション須佐」（約40平方メートル）をリニューアルし、須佐地域の魅力ある産物を提供する農林水産物直売所「いかマルシェ」が、4月1日オープンした。

これまで「須佐男命いか」の販売所は7月から9月の土日曜日のみで、須佐地域を訪れた多くのお客様からイカの常時の直売所が求められ、港町でありながら鮮魚を揃える施設がないと地元からも鮮魚等の直売施設の要望があった。



JR須佐駅前の「いかマルシェ」

萩高校卒の会社社長の遺言により萩市に4億円の寄付

東京都で航空機エンジンの修理業を営んでいた萩高校昭和28年卒（5期）の故・小原實夫（こはらじつお）さんが、昨年3月に死去し（享年84）、遺言によって萩市が4億735万4113円の寄付を受けた。

小原さんは、旧萩市で生まれ育ち、萩高校卒業後、東京都内の大学に進学。卒業後は東京都内で航空機エンジン修理会社を起業、昨年3月19日に死去する直前まで同社の代表取締役社長を務めていた。

遺言執行者の司法書士によると、小原さんは学生時代から生まれ育った萩市に寄付したい意向があり、生前から遺言書の作成依頼があった。「萩市の発展に寄与する建物の建設資金にあてて欲しい」と希望していた。

藤道健二市長は「高額の寄付に感謝している。萩のことを思っていたら本心にありがたい」とお礼を述べた。

2005年の萩市合併以降、寄付としては最高額。萩市ではふ

るさと納税などを積み立てている「あなたのふるさと萩応援基金」に全額を繰り入れ、今後、旧明倫小学校の整備に寄付の一部活用を検討している。

これまでの萩市における最も多額の寄付者は旧阿東町出身の教員、故石川幸子さんの約2億円。萩市は石川さんの寄付金を原資にして大学進学の奨励基金を創設した（19年3月末までに奨学金をのべ380人に給付）。

「いかマルシェ」は「須佐男命いか」を目的に來られる観光客をはじめ、地元住民には鮮魚、農林水産物の直売や加工品、惣菜などを販売する地域活性化の拠点施設となる。

- 施設の内容
- ・須佐男命いか展示販売、鮮魚・イカ一夜干しなど加工品・野菜・惣菜などの販売、弥富龍神そば、赤米など特産品の販売
 - ・木造平屋建て、254平方メートル
 - ・総事業費 1億4561万円



活いかの水槽



真新しい店内



国道191号、須佐総合事務所近くの案内看板

- ① 須佐漁港直送Ⅱ須佐の漁師が一本釣りで釣った鮮魚やケンサキイカ
 - ② 待望の「活いか」常時販売Ⅱ直徑1.5mの水槽を設置
 - ③ 手土産・贈り物Ⅱイカにこだわった加工品や惣菜・魚介・干物なども勢ぞろい、全国発送もOK
- 須佐おもてなし協会「いかマルシェ」
- 萩市須佐429-4
営業時間/午前8時～午後6時
定休日/年末年始
(08387・6・3380)

萩高校、東大から外務省 兼原信克さんが萩で講演

「吉田松陰と日本外交の行方」

内閣官房副長官補を務める萩高校昭和52年卒（29期）の外務省官僚、兼原信克さん（60歳）が、萩ユネスコ協会創立70周年を記念して、2月9日に萩市内で講演した。

兼原さんは阿武町奈古出身、萩高校卒業後、東京大学法学部を経て外務省に入省。主要ポストを歴任後、現在は国家安全保障局の次長も兼務している。愛読書は藤沢周平、座右の銘は西郷隆盛の「敬天愛人（天を敬い人を愛する）」。

この講演は、萩ユネスコ協会副会長で日本外交協会萩支部長も務める池本和人さん（萩高校昭和35年卒）の紹介で実現した。池本さんは、国家安全保障局の谷内正太郎局長とも交流を続けている。兼原さんは谷内局長が外務省事務次官などを歴任していた当時

から指導を受けている。池本さんは「萩・阿武出身で外交の最前線で活躍している人材がいることを多くの人に知ってほしい」と話している。

講演の要約（骨子）を紹介します。

今日の演題は、「吉田松陰と日本外交の行方」とつけさせていただけました。その心は、今、世界情勢が向かっている先、日本外交の見据えている先に、明治維新の直前に、松陰先生の心の中に迸った熱い理想が見えるからです。それは、人間、一人一人を大切に「温かい心」に基づく政治です。社会造りです。儒教を学ばれた松陰先生の言葉を借りれば、「仁」ということだと思えます。「仁」とは優しさのことです。

（中略）

最近、萩の反射炉が世界遺産に登録されました。あの小さなレンガ造りの反射炉は、当時懸命にゼロから工業化に追い付こうとした日本人の努力の結晶です。

今や世界を揺るがす大工業地帯となったアジアの工業は、あの小さな反射炉から始まったのです。世界遺産として登録されるのは当然だと思います。

急激な国際秩序の変貌は、国家そのものを変えてしまいました。国力が大きくなると、国民教育、通信、交通の発達が進み、国民の間のコミュニケーションが進みますから、民族国家が一つの共同体として意識され、新しい近代的なアイデンティティが生まれま

（中略）

人間は、生来、平和に、自由に、平等に暮らしたいという強い社会的欲求を持っています。そのために集団を作つて暮らします。人間は、リーダーを選び、絆を求め、また、弱者を労わる社会秩序を作る能力を与えられています。それが法です。その根底には良心があります。良心とは、優しさです。温かい心のことです。良心から法が生まれます。社会があるところには、必ず法があります。「法の支配」とはそういうことです。個人の独裁は、決して人間の集団本来の姿ではありません。政府が偉

いではありません。政府は、国民が幸せになるための道具にすぎません。

松陰先生は、このことを見抜いておられました。松陰先生は、松下村塾で、次のように教えておられます。

「思うに、天は、本来、心を持っていないものであるから、民の心をその心としている。天みずから視たり聴いたりする働きがあるのではなく、民の視たり聴いたりしたことを、みずからのそれとしている。（中略）これが人の心を、そのままの心とするということである。」

そして、松陰先生は、「徳を称えて歌うものが、心を寄せるものを天という。」と続けて述べられています。

この松陰先生の言葉は、正に、天賦人權、民主主義の思想です。松陰先生は、松下村塾で、孟子を講義されました。その内容は、「講子壘節記」として現在も読み継がれています。松陰先生のこの言葉は、今日、私たちが普通に考えている自由や民主主義の考え方と何ら変わることはありません。それはイギリスのジョン・ロックや、フランスのジャン・ジャック・ルソーが考えた思想と同じです。人間の一人一人の価値は同じです。だから人は、皆、本来、自由で平等です。皆が平和に安楽に生

きていけるように、人は、絆を求め、社会を作ります。その時、人間には、よりよい社会を作るために、心の底から噴き出すエネルギーがあります。それを生み出すのが、人間が持つて生まれた温かい心です。優しさです。それを儒教では「仁」と呼び、仏教では「慈悲」と呼びます。キリスト教では「愛」と呼びます。松陰先生の教えが、未だに人の心を打つてやまないのは、松陰先生の言葉が、温かい心から噴き出してくる言葉だからだと思います。

今、日本政府は、「自由で開かれたインド太平洋」という考え方を提唱しています。アジアの国々は、私たちと、人間を大事にすると言う伝統的な価値観を共有しています。戦後、独立を遂げたアジアの国々は、華々しく経済成長を遂げて、繁栄を実現しました。90年代から、フィリピン、韓国、タイ、インドネシア、マレーシア、ミャンマー、台湾等が、次々と民主化を遂げました。インドは生まれながらの民主主義国家です。私たちは、漸く、平和で、自由で、平等な国際社会をアジアで実現しようとしています。それは、150年以上前、明治維新を見ることなく亡くなった松陰先生が、きつと夢見た人類社会の姿ではないかと思うのです。



講演する兼原信克さん

萩高校野球部が「萩おもてなし大賞」(市民部門)に

「萩おもてなし」グラウンドチャンピオン・大賞表彰式」が、3月12日に萩市内で行われ、2018年度の大賞は、市民部門に「萩高校野球部」、観光事業部門に土原の旅館「常茂恵」(厚東啓子女将)が受賞した。

今回は20回目の節目となることから歴代の大賞受賞者の中から特に優れたおもてなしを実践している「萩おもてなし」グラウンドチャンピオン」は、浜崎伝建地区のまちづくり団体「浜崎しつちよる会」(小茅悦念会長)が受賞した。



市民部門の大賞を受賞した萩高校野球部

市民部門で大賞に選ばれた「萩高校野球部」は、山口県指定無形民俗文化財の住吉神社「お船謡」山車の曳子を長年にわたり担い、伝統文化の保存や祭りの盛り上げに貢献している。また、世界遺産の中にある学校として、自発的に学校周辺の清掃活動にも取り組んでいる。

野球部の森田晃太郎主将(大井)は「自主的にやってきた活動が認められてうれしい。清掃活動は恩返しと想っているので、今後も続けていきたい」と話している。

観光事業部門で大賞を受賞した「萩の宿 常茂恵」は、萩の歴史や文化を感じ、萩前の海の幸を味わってもらうなどのおもてなしを実践し、萩の迎賓館としてお客様を迎える心構えで、外国人対応にも積極的に取り組んでいる。

グラウンドチャンピオンの「浜崎しつちよる会」は、浜崎伝建地区で町並み保存やガイド、古民家の管理・運営、イベント開催など、平成10年から約20年間にわたり活動を続けている。5月の「浜崎伝建おたから博物館」では約100人のボランティアが参加する。今年5月19日(日)に開催。

萩市在住の写真家 下瀬信雄さんの個展

山口市の県立美術館で開催

萩市の写真家・下瀬信雄さんの個展「下瀬信雄展・天地結界」が、山口市の山口県立美術館で5月23日(木)から開催される。

下瀬さん(萩高昭和40年卒)は、萩の街並みや風景をとらえた最初の写真集「萩・HAGI」(1989年)が、私的な視点から街の佇まいをみつめる感性が評価され日本写真協会新人賞を受賞。

萩を題材とするシリーズは、さらに中判カメラで自然や風景をとらえた「風のとき」、小型カメラによるスナップショットを集めた「風の中の日々」のシリーズへと展開し、「萩の日々」(98年)に結実した。

90年代初めごろからは、4×5インチの大判カメラを用いたモノクローム撮影で自然界の中に潜む境界にせまる「結界」をテーマとするシリーズに取り組む。被写体は、クサソテツ、カラスノエンドウ、オオミズアオなど、我々の身近にある自然。侵しがたい神秘性を帯びたその緻密な写真は、我々の日常のすぐそばにある彼らの生命と、大自然の摂理ともいえるべきその営みを改めて思い出させてく

れる。結界シリーズは、下瀬さんのライフワークとなっている。

■下瀬さんによるギャラリートーク
6月8日(土)・29日(土) 午後1時30分(30分程度、申込不要)

会期/5月23日(木)〜7月7日(日)
開館時間/午前9時〜午後5時
休館日/月曜日(ただし6月3日、7月1日は開館)

観覧料/一般1200円、シニア(70歳以上)・学生1000円、18歳以下は無料

会場/山口県立美術館
山口市亀山町3-1
(083・925・7788)



イージス・アショア 適地調査を5月まで延長

政府が導入を目指す地上配備型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」の配備計画を巡り、防衛省中国四国防衛局は、候補地の陸上自衛隊むつみ演習場が適地かどうかを確認するため実施している「適地調査」を5月まで延長すると発表した。

調査は昨年10月に始まり、3月中に終えて、4月以降に結果を公表する予定だった。陸上自衛隊の対空レーダーを使った電波実測調査が試算値より低かった原因を調べ、また、周辺の水環境に影響を与えないため地盤の透水性の分析を追加する。

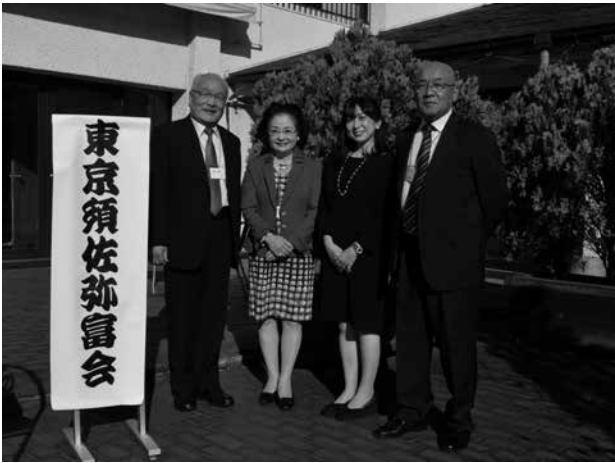
萩市議会3月定例会において、萩市の藤道健二市長は配備受け入れの是非を判断する基準として、「国益にかなうか」、「市民の安心・安全を確保できるか」、「まちづくりを大きく阻害しないか」の3点を挙げ、「この三つの条件がクリアされるかどうかを慎重に見極めたいので、配備を受け入れるかどうかを判断したい」と述べている。また、阿武町の花田憲彦町長は「町が進めてきた移住政策などのまちづくりを根底から覆す」として配備計画反対を正式に表明している。

しげた
重田 麻紀さん

(東京都港区在住、43歳)



特別学芸員就任にあたって



2018年11月の東京須佐弥富会、左から事務局・勝山義康さん、益田本家・益田路子さん、重田麻紀さん、須佐公民館長・吉田満さん

今年4月より、萩市須佐歴史民俗資料館特別学芸員を委嘱されることになりました。長年、近世(江戸時代)の益田家と須佐地域について研究をしておりますが、これほど光栄なことはありません。

昨年度、須佐歴史民俗資料館の企画展「明治維新前夜」の監修を担当、シンポジウムにも登壇させていただきました。展示では、地域から親しみを持ってもらえる切り口を心がけましたが、学芸員としても同様に、「地域の歴史」を念頭に置き、資料館での展示や資料収集活動はもちろんのこと、地域住民や小中学校生への普及活動、益田市との連携、そして観光も含めた地域振興と多岐にわたる活動をさせていたきたいと考えています。

益田家文書との出会い

なぜ、出身地でもない地域の研究をしているのか、という質問をよくされます。ここに至るまでに二つの大きな出会いがありました。益田家と須佐地域について研究を始めたきっかけは15年ほど前にさかのぼります。当時、わたしは大学院博士課程に在籍、幕末期の庄屋(主として小郡地域)について研究していました。

同時期、東京大学史料編纂所の久留島典子教授を研究代表者とした、科学研究費助成事業「大規模

武家文書群による中・近世史料学の統合的研究―萩藩家老益田家文書を素材に―」がスタートします。その一環で、1万点を超える膨大な益田家近世文書の目録を採る必要が生じ、「東京で萩藩の研究をしている大学院生がいる」ということで、メンバーに加えていただく幸運に恵まれました。

そこに参加してびっくり。中世の益田家文書は従前より大変有名でしたが、大量にある近世文書はほぼ手付かず。まさに宝の山です。益田家が領有した地域のこと、家臣のこと、さまざまなことが記された文書を目の当たりにし、研究者として一生向き合っていこう、と心に決めました。

須佐郷土史研究会東京支部への参加

二つ目の出会いは須佐郷土史研究会東京支部です。プロジェクト終了後は、独自で近世の益田家や須佐地域について研究を続け、論文を何本か発表しました。何気なくネットサーフィンをしていると、同会ホームページにて、わたしが論文で取り上げた内容が書かれた史料を読んでいる、との情報。なんとか伝手を頼って月例会に参加。快く迎えてもらい、地域のこと、伝承や地理的なこと、一人では知りえないことをご教示いただきました。

また、東京で毎年行われる「須佐弥富会」をきっかけに、益田本家ご夫妻と親交を深めさせていただき、歴史のみならず地域振興という視点も学び、「地域の歴史」を意識するきっかけをいただきました。

恩返しへの気持ち

須佐へ通うたび車で送迎や案内をしていただくなど萩市須佐地域の方々には大変お世話になっていきます。また、田万川地域へ調査に行った際には、台風で交通手段がなくなり、ご自宅へ泊めていただいたこともありました。

今後は特別学芸員としての活動を通じて、私が(勝手に)第二の故郷だと思っている、須佐を中心とする萩市東部地域に対して、研究成果を還元し、少しでも恩返しをしていきたいと思っております。

プロフィール

生年月日: 1975年(昭和50)7月
出身地: 神奈川県横須賀市
現住所: 東京都港区
最終学歴: 慶應義塾大学大学院文学研究科後期博士課程
職歴: 国士舘大学法学部・慶應義塾大学文学部非常勤講師ほか
現在、慶應義塾福澤研究センター研究嘱託、明治大学文学部兼任講師、山口県史調査委員も務める。

菜々色マルシエ通信「萩の夏みかん」

みかんの花咲く城下町

新緑の萩城下町。爽やかな風に乗る、白く可憐な小花が放つ甘く上品な香りに町全体がやさしく包まれています。夏みかんの花の香りを楽しめるのは、毎年5月の数週間だけ。環境省「かおり風景百選」にも選ばれた、歴史ある萩城下町からの初夏のおもてなしです。同じ頃、菜々色マルシエの店頭では甘夏・夏みかんの果実が入荷の最盛期を迎えます。

実は希少な「夏みかん」

萩産の甘夏・夏みかん。市内のあちこちで橙色の果実をたわわに実らせた姿が目を引きますが、現在青果として流通しているもの多くは、食べやすく改良された夏みかんの枝変わり「甘夏」です。今では昔ながらの「夏みかん」は生産量がごくわずか。シャキッと目が覚める程に爽快な酸味は初

夏の陽気に心地よく、すっきりとした甘味と独特のほろ苦さが郷愁を誘います。

ご家庭用から贈り物まで

皮菓子やマーマレードを手作りされる方には皮がゴツゴツ・しつかりした「夏みかん」が人気です。また柑橘栽培のプロ「萩耐久社」が生産した夏みかんは最上級。その中でも厳選品は明治時代のレッテルを再現した当駅オリジナル包装紙で一玉ずつ包んで箱詰めしたギフト用もご用意しています。

かつてこの地の経済を支えた「萩の夏みかん」。新しい時代にも変わらぬゆかしさがここにありま

道の駅萩往還

(08388・22・9889) 全国発送いたします。WEB「道の駅萩往還」で検索



萩耐久社の夏みかん

道の駅・萩しーまーと通信 旬の水産物「天然わかめ」

前回の萩ネットワークで萩の天然真ふぐをご紹介したところ、記事を読んでくださった皆様から、真ふぐについてたくさんのお問い合わせやご注文をいただきました。お電話をいただき、ご用件の真ふぐの注文以外にも、毎回萩ネットワークを読んでくださっている感想や、萩に住んでおられた時の思い出などをお話できてとてもうれしかったです。どうもありがとうございました。

季節を代表する地物わかめ

今回は春の味覚をご紹介します。春に旬を迎える水産物はたくさんあります。その中で萩らしさを感じる食材が「わかめ」です。

わかめはふりかけなどで一年を通してみかけますが、旬は今の時期です。萩の海辺で天然の生わかめが採れます。2月下旬から4月にかけて萩の玉江から江崎にかけて海岸沿いの国道からも漁をしている様子を見かけます。わりと沿岸から近い場所で漁をしています。越ヶ浜や玉江の海士さんが、潜って採ったり、船の上から箱眼鏡で海の中を覗き長い柄のついた道具で刈るようにしてわかめを採取しています。

しーまーとの特徴として3月、

4月の館内には非常にわかめの姿が目立ちます。生わかめ、干しわかめ(薫で縛ってあるもの)、刻みわかめとその形体も様々です。生のわかめはぜひ「しーまーゆあらい」でお召し上がりください。醤油を混ぜては絞る作業を2、3回繰り返してできあがりです。シンプルでおいしく萩の郷土料理として伝えられています。しかしわ

かめは生の状態で保存ができないため天日干しにします。干したわかめを刻んでごはんにかけてたり、わかめむすびにしても、新物は特に、香りと食感がよく風味豊かな味わいを楽しむことができます。

道の駅 萩しーまーと

(08388・24・4937) WEB「萩しーまーと」で検索



干しわかめ



わかめの天日干し



わかめむすび



庭園



はななり
「茶寮・花南理の庭」
まやはら かねもと
馬屋原 務本 さん (62歳)

大組でした。また、萩藩の直目付を務めたこともあり、その時を中心に、藩主から拝領したり、購入した古美術が先祖代々受け継がれていました。

この「茶寮・花南理の庭」として開業した古民家は、曾祖父が軍を退役したとき建てた建物で、私の生家でもあります。父の仕事の関係で、学生時代、萩で生活した期間は多くはなく、年長まで光塩幼稚園、その後美祿に移り、再び萩に戻って萩明倫小学校を卒業しましたが、中学校は柳井中と富田中、高校は徳山高校に進学し2年時に萩高校に編入。昭和50年に卒業後は熊本大学に進学し、教員免許を取得しました。高校教員となつてからは社会科、特に公民を教えていたので赴任先は限られた高校で、萩の学校でいえば徳佐高校高保分校時代のみでした。その他は全て萩市外の学校で教鞭を振るっていました。

定年後の人生を考へて

生家である馬屋原邸を古民家カフェにしようという構想を練るようになったのは、定年を迎える10年前くらいからで、定年したらこの家で暮らせるように、時間を作つては庭の草取りや蔵にあるお宝を整理しながら美術品を調べていたら、萩の古地図や萩にゆかりの古美術がたくさんあり、庭園も合わせて

観光資源になり得るのではと思つたからです。

そうして2017年3月、37年間勤めた教員を退職し、オープンしたのですが、とてもタイミンングが良かったのは、退職の直前にテレビ東京系列の「開運!なんでも鑑定団」に出演し、美術品の一つを紹介できたことです。それが花南理の庭がオープンしてからも地元民放でも放送されました。これをキッカケに、いくつかのメディアにも扱われ、市内外の人に、「花南理の庭」の存在を知っていただけました。

新しい観光力

お茶を楽しむスペースである、はなれの席の庭園に面した障子戸の障子を全てアクリルに替え、パノラマビューで庭園を眺められるようにしました。この席から臨む景観は、住宅地の一角にある空間とは思えないものです。最近では、オーストラリアから来られた日本庭園好きの夫婦2組がお越しになり、庭園と萩の料理とミニ美術館にある美術品を、2日間にわたり楽しめました。

このように、インバウンドを迎え入れることも、萩の観光力拡大につながると思いますし、同じように力を注いでいるのが、ナイト観光のコンテンツ作りです。庭園をライトアップして、夜の観光も

楽しめる観光地にしたい。また将来的には、宿泊業の展開も考えており、やりたいことは膨らむばかりです。

定年はリタイアではなく、セカンドキャリアのスタート。体力が続く限りは、生産者として地元へ寄与し、人生を楽しんでいきたいと思ひます。

■茶寮・花南理の庭
萩市江向333番地

(萩市役所から徒歩3分)

営業時間/通常 10時~16時30分

*夜間は食事のみ営業(予約制)

蔵を改造したミニ美術館/入館料

300円

メニュー/コーヒー、夏みかん

ジュース(スイーツとのセットあり)、抹茶

食事予約制はご予算に応じます。

定休日/水曜日

(090・5704・2406) 馬

屋原

*フェイスブックもご覧ください。



松林桂月筆「春宵花影」

萩に所縁はありながらも

馬屋原家の祖先是毛利輝元公の家臣で、高杉晋作の高杉家と同じ

萩の夜を愉しむ

最終回 ④

(下五間町・上五間町・吉田町・東田町)

路地のネオンに灯りがともれば、
萩の隠れた魅力が顔を出す

店の紹介・写真は、山口県飲食業生活衛生同業
組合萩支部の提供

※「マップ入りのパンフレット」を希望者
に郵送します。

music bar MUSE ~ミュージズ



¥ 60分1,500円1Drink付~
L 20:00~1:00
席 カウンター/12席、
ボックス/40席
住 萩市下五間町32 (休) 日曜

○ ピアノの生演奏
○ を聞きながら
○ ゆっくり
○ 居心地良く
○ 飲みませんか?

TEL 0838-26-1777

スナック J



¥ 90分2,000円~
L 20:00~1:00
席 カウンター/10席
住 萩市下五間町54
(休) 不定休

○ カウンターの
○ おちついたゆっくり
○ 飲めるお店です

カラオケ

TEL 090-9508-9204

スナック よあけ (天明)



¥ 3,000円~
L 19:00~1:00
席 20席
住 萩市下五間町54
(休) 日曜

○ ゆっくり
○ 飲める
○ お店です!

TEL 090-1010-8254

スナック アンジュ



¥ 3,000円~
L 20:00~24:00
席 カウンター/10席、
ボックス/18席
住 萩市下五間町54 (休) 日・水曜

○ 安心して落ち
○ 着いて飲める
○ お店です!

カラオケ

TEL 0838-26-3313

coen.



¥ Food¥300~、Drink¥350~
※ノーチャージです。
L 18:30~24:00
席 28席
住 萩市吉田町77-4 (休) 月曜

○ 萩の祭り
○ 「和船大競漕」を
○ 制した漢が
○ いる店

TEL 0838-26-5088

すなっく 乃愛



¥ 60分2,000円~
L 19:00~1:00
席 カウンター/8席
住 萩市上五間町1番地
(休) 日曜

○ ぽっちゃりママ
○ 和服で
○ お迎え!!

カラオケ

TEL 0838-22-2646

Bar ADEL



¥ 500円~
L 20:00~2:00
席 40席
住 萩市東田町18
ヤングプラザビル2F (休) 日曜

○ フレッシュフ
○ ルーツを使った
○ カクテルなど
○ 色々なお酒を楽
○ しんでください

TEL 0838-22-8117

スナック 味 (わみ)



¥ 60分2,000円
L 20:30~2:00
席 7席
住 萩市上五間町1番地
(休) 月曜

○ 軽い食事が
○ できます

カラオケ

TEL 0838-22-2125

すなっく よあそび



L 19:00~
席 カウンター/8席、
ボックス/10席
住 萩市大字下五間町44
(休) 日曜

○ 気楽に飲める
○ お店です

カラオケ

TEL 0838-22-6011

スナック アマン



¥ 90分カラオケ3,000円飲み放題
L 19:00~1:00
席 30席(カウンター・ボックスあり)
住 萩市東田町18ヤングプラザビル2F
(休) 月曜

○ 落ち着いた
○ 雰囲気のお店

カラオケ

TEL 0838-26-3455

長州萩の奥平謙輔と新潟・会津の人々

— 明治・戊辰150年 新潟・会津で感じたこと —

道迫真吾（萩博物館総括学芸員）

奥平謙輔とは一体どういう人物であろうか。明治九年（一八七六）前原一誠とともに、萩の乱に敗れた人物の一人といえ

ば、少しはイメージしてもらえ

るかもしれない。だがこれは、奥平の一面でしかなく、彼が新潟や会津の人々と交流を深めていた事実は意外と知られていない。とくに会津といえ、萩との関係を語る際にマイナス面ばかりが強調されるあまり、奥平の果たした役割がかき消されるきらいがある。



奥平謙輔（萩博物館蔵）

筆者は昨年、新潟と会津を訪ねる機会を得、奥平が実際に足を運んだと思われる現場を確認した。そこで今回は、奥平がいかに新潟や会津の人々と交流を深めていたかを紹介し、萩と会津の関係を未来志向で再考するきっかけづくりとしたい。

奥平は、長岡・新潟・米沢などでの戦闘を経て、会津若松城に向けて進軍する途上の坂下（福島県会津坂下町）で、会津藩の降伏を知る。そこで明治元年九月二十四日、会津藩の軍事奉行添役を務める秋月悌次郎あてに手紙を書き、それを坂下近郊に疎開していた会津若松城下の真龍寺の住職河井善順に託した。

奥平が秋月に対して、なにゆえに手紙を送ることができたかという、秋月が安政六年（一八五九）萩の明倫館を訪れ、そこで二人が交流していたからである。奥平は、十七歳も年上の秋月に送った手紙で、だいたい、次のようなことを伝えた。「会津藩が主君である徳

川家への忠義のために戦ったことは家臣として正当である。しかし今後は朝廷のために尽くしてほしい」と。

それを受け取った秋月は、涙を流しながら読み、十月六日、奥平に謝意を伝える返事を送り、奥平に直接会いに行った。秋月は奥平に、藩主松平容保父子の助命と、会津藩士の子弟の教育とを頼む。そして会津に戻った秋月は、河井善順に山川健次郎らの少年を託し、奥平のもとに向かわせた。このとき山川は十五歳、会津藩校日新館に学んだ俊才で、白虎隊（十六、十七歳）に年齢を偽ってまで入隊するほどの豪胆な一面もあった。

奥平はまもなく、佐州参謀兼民政方として佐渡島へ赴任する。山川らは奥平の書生となり、佐渡で玄関番をしながら勉学に励んだ。

明治二年三月、山川らは越後葛塚（新潟市北区）の豪農遠藤七郎のもとに預けられた。遠藤は、草莽諸隊北辰隊の隊長として長州藩干城隊に従軍しており、その関係で奥平や前原一誠との親交を深めていた。遠藤は蔵書家でもあり、その十歳で山川は書物を貪り読んだ。



開市神社に建てられた遠藤七郎像（新潟市）

奥平謙輔と山川健次郎の絆

奥平は、越後府権判事を経て、翌明治二年八月、辞職し佐渡を離れることになった。佐渡赴任はわずか九カ月という短期間であった。

その後、奥平が東京に出たため、山川らもそれに従ったが、奥平はまもなく萩に帰郷したため、山川らはそのまま東京で勉学を続けた。萩の奥平謙輔は、会津の秋月悌次郎と交流があった関係で、前原一誠と協力して会津藩主の助命に

尽力し、さらに会津出身の未来ある少年、山川健次郎らの教育にまで貢献していた。なかでも、山川のちに国費でアメリカ留学を果たし、物理学者（東京大学初の理学博士）として名を成したことを見逃すわけにはいかない。山川はそれのみならず、東京帝国大学（東京大学）総長、初代九州帝国大学（九州大学）総長、京都帝国大学（京都大学）総長を歴任し、貴族院議員をもつとめた。われわれは、山川が会津の出身であること、その陰の功労者は奥平謙輔であったことを忘れてはならない。さらに、越後葛塚で山川に勉強環境を提供した遠藤七郎という奇特定の人物の存在もまたしかりである。

実際、山川は奥平に対して相当の恩義を感じており、大正七年（一九一八）萩の大昭院にある奥平の墓を詣でたとされる。また、大正十五年、東京芝の増上寺で営まれた奥平の五十遠忌法要にも参加した。

このように、萩と会津の関係にはプラス面も確認できるのである。教育の力が問われる今、奥平と山川の間に培われていた強い絆に、多くを学ぶべきではないかと思う。

〔参考文献〕松本健一『秋月悌次郎 老日本の面影』／山川健次郎顕彰会『山川健次郎』／松本二郎『萩の乱』

長州萩の奥平謙輔、会津の人々のために尽力

奥平謙輔は天保十一年（一八四二）萩城下の土原に生まれ、藩校明倫館に学び、詩と書に秀でた。明治元年（一八六八）



日新館に建てられた山川健次郎像（会津若松市）

萩ジオパークフェア 2019

楽しく体験し恵みを味わう

萩ジオパークの日本ジオパーク認定を記念して、大地と人のつながりを楽しむイベント「萩ジオパークフェア2019」が3月8日～10日までの3日間開催されました。今年度のテーマは「地球と食」で、最終日の10日には阿武町町民センターでイベントが催されました。

阿武町の山の幸・海の幸が味わえる「阿武のジオの恵み鍋」をはじめ、皆さんが持参された石を山口大学の教授が鑑定する「開運!! 石ころ鑑定団」、モドロ岬パウンド大地を模したスイーツ販売のほか、模擬的なシーカヤック乗船体験などユニークな催し物が満載。なかでも、石灰石でのオリジナルはんこ作りやバッグ作り、大地を感じるヨガには多くの方が集まりました。モドロ岬クルーズには、あいにくの雨にも関わらず18人の方が参加されました。

また、認定を記念したシンポジウムでは広聴された方からも質問が相次ぎ、会場参加型の実りあるイベントとなりました。



モドロ岬の水玉模様を疑似体験

阿武町の新年度予算

第1次産業の振興と定住対策に重点

第1次産業の振興と定住促進を柱として、あらゆる施策を総動員し、チェンジ、チャレンジの精神をもって、他の自治体に先駆けた施策を、大胆・果敢に進めます。一般会計は総額28億2400万円。第一次産業の振興と定住対策として、大きく3つが挙げられます。

一つ目は「地域経済循環創造事業」。町内事業者が新たな特産品の開発を行うため、キジハタ、トラフグを対象にナノバブルシステムを利用した陸上養殖施設の設置

に対する助成を行います。

二つ目は町営住宅の建築。漁業就業者の定住を促進するため、尾無（宇田郷地区）に町営住宅2棟2戸を新築します。

三つ目は「まちの縁側事業」。道の駅を中心として、滞在拠点としてのビジターセンターや簡易宿泊所の整備、体験コンテンツの開発を、地方創生推進交付金を活用しながら図ります。

また、新たな総合計画を作る年度であり、町民アンケートやヒアリングを実施しながら、「住みよくなる」とつくり計画審議会」の開催などを含め、基本計画と総合戦略が一体となった2020年から24年の5カ年における新しい総合計画の策定にも取り組みます。



「まちの縁側機能」が期待される道の駅・阿武町

萩・明倫学舎通信

幕末ミュージアムに5カ国語対応音声ガイドシステムを導入

今年3月、萩・明倫学舎2号館の「幕末ミュージアム」に5カ国語対応の音声ガイドシステムを導入しました。

幕末ミュージアムでは、江戸時代後期の科学技術（軍事・天文・測量・医学）及び歴史に関する実物資料を約600点展示しています。しかし、かねてよりキャプションが小さいことや、外国語の説明に対応できていないことに対してご指摘をいただいていた。

そこで導入した5カ国語対応の音声ガイドシステムは、お手持ちのスマートフォンなどWi-Fiにつなぐことができる機器があれば簡単に利用することができます（専用アプリのダウンロードや使用時の申請は必要ありません）。

幕末ミュージアムの中には、日本地図を作成したことや有名な伊能忠敬が使用したものと同形の象限儀や、萩（長州）藩内で作製された「長州鉄砲」など、その貴重さは説明があつてこそ

感動が得られる展示ばかりです。このガイドシステムを使用すると、日本語はもちろん、英語・韓国語・中国語・簡体字・繁体字の言語で、幕末ミュージアム内18カ所の説明を聞いたり、スマホ画面に表示される説明を読んだりできます。ぜひ来館の際は活用してみてください。

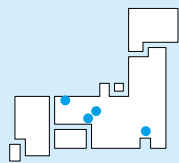
この他にも、萩・明倫学舎観光インフォメーションセンターは、JNTO（日本政府観光局）の認定外国人観光案内所に登録されました。いよいよ500日を切った東京オリンピック・パラリンピックやインバウンド対策として、萩・明倫学舎も着実に準備を進めています。

■NPO明倫学舎
(0838・21・0304)



音声ガイド





情報
ください
!

「クラス会をいつ、どこで開催します」という情報をお寄せください。萩の資料送ります。投稿記事も歓迎します。hagi-network@city.hagi.lg.jp

会員投稿 1月25日 がんこ高瀬川二条苑(京都市)

萩高第21期(昭和44年卒) 関西地区同期新年会



比叡おろしによりひとときわ底冷え厳しい高瀬川沿いの京都市内で、関西地区同期新年会を開催しました。関西同期会は平成17年創設後、大阪、京都、神戸、持ち回りの2年周期で開催しており、昨年4月で7回目となりました。

今回の新年会は初めての試みで、役員有志により楽しく和やかなひとときを過ごすことができました。夏には暑気払いで集まろうとの声もあり計画中のところです。これからも同期生としての縁を益々深めていきたいと願っております。

原田敏明(京都市)

会員投稿 3月15日 南国酒家 原宿本店(東京都)

萩高第4期(昭和27年卒) 関東地区同期会



終戦の翌年、最後の旧制中学、高女入学。昭和24年高校入学、25年男女共学始まる。南園にてお見合い。そして時代は「青い山脈」、初恋の女性生徒と映画見物。翌朝には教員室に呼び出された。今は懐かしい。6年間も北高、南高と学び、絆は強い。年に春秋2回開催、同期とはいえ敗戦の影響色濃く、85～88歳と年齢の開きはあるが、いつも元気で心のふるさと萩を語り合い、萩高4期原宿の会は永遠に続くような気がしている。

これは平成最後の勇姿であり、次回の秋には新しい時代の同期会が始まることになる。

世話人 井関俊彦(船橋市)

会員投稿 1月26日 バンダリア(大阪市)

関西・東海ふるさと阿武町会



阿武町を応援し懇親を深める「第3回関西・東海ふるさと阿武町会」が、大阪北区のバンダリアで開かれ60名が参加した。

伊藤会長の「1年ぶりの再会、交流を楽しんで」の挨拶でスタート。来賓の花田憲彦町長はイージス・アショアの整備計画にふれ、反対の立場を表明。続いて東京ふるさと阿武町会の三浦孝雄事務局長が明治維新の頃活動していた同町出身池田梁蔵の研究を発表した。

懇親会ではテナーサックスとギターの演奏を楽しみ、3中学校校歌斉唱で盛り上がり、村上事務局長がそれぞれ出来る範囲で応援して行こうと締めくくった。

会長 伊藤孝(草津市)

会員投稿 4月1日 萩本陣(萩市)

萩高第14期(昭和37年卒) 喜寿記念同期会



新元号発表で湧き上がる中、萩高14期生、卒業57年目の同期会を開催し66名が参加した。はじめに陶芸村公園展望広場に還暦記念で植樹した桜、古希記念で設置したふるさとの歌詞が刻まれた石碑の前に集まった。眼下に広がる指月山を頂点に広がる扇状地を見下ろし、青春時代の思い出に浸りながら互いに声を掛け合った。会場では、たちまちのうちに旧知の間柄にもどり、肩を抱き合いながら話の花を咲かせた。和やかながらも興奮気味の中で、あっという間に時間が過ぎた。令和3年の同期会での再会を期して散会した。

事務局 野山嘉孝(萩市)

萩大志館が「まちじゅう図書館」

ゲストハウスルコに著名人が選ぶ
「萩で読みたい10冊」を設置

萩市出身者でつくる一般社団法人「萩大志館」は、著名人が選んだ「萩で読みたい10冊」を萩市内の店舗や施設に設置する取り組み「萩まちじゅう図書館」を、萩市唐樋町の「ゲストハウスルコ」(ルコ)で始めた。

萩を本と出合える街にすることを目的に新しい観光客を呼び込もうと、第1弾はライフネット生命保険の創業者である出口治明さん(立命館アジア太平洋大学学長)の選書として、「史記列伝」、「武士の日本史」、「昭和史」など歴史・文化の古典や現代史など10タイトル20冊を専用の本箱に並べ、各書籍の帯には出口さんのコメントが添えられている。

萩大志館代表理事の井関隆行さん(福岡県、42歳)は「自分が出口氏のファンで、萩に来て、ゆつくりと流れる時間の中で読みたい本を選んでもらった」。今後は「活動に共感してもらえる店舗・施設などを広げ30カ所まで拡大したい」と話している。

萩大志館は萩出身者による支援金を財源に活動し、書籍の購入費は寄付で賄われた。

■出口治明さんのコメント

「史記列伝」はヘロドトスの歴史と並ぶ古典。特に「列伝」は人間味にあふれている

「昭和史」(半藤一利)は戦後日本のスタートとなった昭和時代を学ばずに現代の日本は語れない

「第二次世界大戦」(アントニー・ビーヴァー)は20世紀を決定付けた大戦の全貌を描いた大作。戦後はここから始まる。



▶ゲストハウスルコで出口さんが選んだ10冊を紹介する萩大志館の井関隆行さん(萩高平成7年卒)

映画館「萩ツインシネマ」再開

新映写機導入のため寄付募集

映写機の故障で休館していた萩市東田町の映画館「萩ツインシネマ」が3月9日から営業を再開した。同館を運営するNPO法人萩コミュニティシネマ(高雄一壽理事長)は、年内に新しい映写機を購入する必要があるため、寄付の受け付けを始めた。個人1口千円、企業・団体3口3千円で全国に向け協力を呼びかけている。

萩ツインシネマでは、映写機のプロジェクトが再起動できなくなり、2月18日から休館を余儀なくされた。全国各地から心配の声が寄せられる中、映像機材販売会社から一時的にプロジェクトを借りることができ、約3週間ぶりに再開することができた。

柴田寿美子支配人(萩市福栄、48歳)は「未来の子どもたちに映画館を残していけるよう頑張っていきたい」と意気込んでいる。

ヒット作「ボヘミアン・ラプソディ」を5月10日(金)まで上映中、アカデミー賞作品賞の「グリーンブック」を5月10日(31日(金))に上映予定

新しい映写機購入(約600万円)を目指す募金活動には、昨年同館で上映された映画「金沢



缶バッジに提供されたイラストをもつ支配人の柴田寿美子さん

シッターガール」の原作者で萩市出身の漫画家・桐木憲一さんも協力し、寄付の返礼として配る缶バッジにイラストを提供した。

募金は萩山口信用金庫など金融機関の口座振込で受け付けている。萩山口信用金庫萩支店(普通) 0506241、ゆうちょ銀行 01300・9・37489など問い合わせ 萩ツインシネマ (0838・26・6705)

■萩ツインシネマ 1976年(昭和51)にヤングプラザ萩ビル内に、2スクリーンのクラク1・2としてオープン。96年閉館の危機に民間会社を設立し「萩ツインシネマ」と改名。2004年、一時閉館後にNPO法人萩コミュニティシネマを設立し運営再開。09年山口県内で初めてデジタル化。

地域の皆様とともに



<http://www.shinkin.co.jp/hagiyamaguchi/>

萩支店: 萩市大字唐樋町3番地3
☎ 0838-22-3111

浜崎支店: 萩市大字浜崎町253番地2
☎ 0838-22-0197

越ヶ浜支店: 萩市大字椿東6392番地1
☎ 0838-25-0321

奈古支店: 阿武郡阿武町奈古2311番地の13
☎ 08388-2-3028

新川支店: 萩市大字椿東3072番地12
☎ 0838-22-0608

松本支店: 萩市大字椿東2511番地3
☎ 0838-22-3113

橋本支店: 萩市大字橋本町74番地
☎ 0838-22-3141

関東地区

■萩光塩学院同窓会「光友会」

関東地区の萩光塩学院同窓会。

6月9日(日) 正午、

東京都杉並区高円寺南5・11・35
メルセス会管区修道院(JR中野
駅南口下車)
(090・7280・3419) 渡

■「萩 岡田泰 作陶展」

岡田泰の個展。

5月29日(水)～6月4日(火)

東京都中央区銀座4・6・16
銀座三越 7階ギャラリー
(03・3562・1111)

東海地区

■東海指月会

東海地区の萩高同窓会。

6月16日(日) 正午～午後2時

愛知県名古屋市中村区(名古屋駅
前通りユニモール地下街11番出
口)
名古屋キャッスルプラザ3階 福

関西地区

■つばき会関西支部

関西地区の萩商工同窓会。

6月15日(土) 正午～午後3時

大阪府中央区天満橋京町(地下鉄
天満橋駅下車)

大阪キャッスルホテル3階錦城閣
(06・6389・1547) 鳥田

■関西山峡(やまなみ)会

旧旭村・川上村の同郷会。

6月23日(日) 午前11時～午後3
時

大阪市都島区網島町(JR東西線
大阪城北詰駅から徒歩1分)
大園園
(0742・41・2023) 青水

■「国宝の殿堂 藤田美術館展」

藤田美術館は、明治期の大阪の
実業家、萩出身の藤田伝三郎とそ
の子息が収集した美術品を公開す
るため、1954年、大阪市都島
区網島町に開館した。

4月13日(土)～6月9日(日)

奈良市登大路町50
奈良国立博物館
(0742・22・7771)

中国地区

■つばき会広島支部

広島地区の萩商工同窓会。

7月13日(土) 午後6時30分～

広島市南区金屋町1・17
ワークピア広島(旧広島労働会館)
(080・6332・1159) 土
佐岡

萩市のふるさと納税の返礼品に、「郵便局のみまもりサービス」が導入されました!

大切なご家族の毎月、毎日のみまもりを郵便局がサポート。

郵便局の
みまもり
サービス

例えば
こんな方に

生活状況について
把握したい

頻繁に帰省する
ことができない

人との会話で
元気になってほしい



○みまもり訪問サービス

萩市で暮らす親御さんなどのご自宅に、郵便局社員等が毎月1回訪問し、生活状況を確認して、その結果をご家族等の報告先へお知らせするサービスです。(報告先は最大3件)

○みまもりでんわサービス

萩市で暮らす親御さんなどの固定電話等へ、毎日指定された時間帯に、自動音声電話をお掛けし、利用者の体調確認結果を、報告先にメールでお知らせするサービスです。(報告先は最大4件)



【寄付金額】

○みまもり訪問サービス (12か月): 108,000円、(6か月): 54,000円

○みまもりでんわサービス 【固定電話】(12か月): 42,400円、(6か月): 21,200円
【携帯電話】(12か月): 51,000円、(6か月): 25,500円

※ 「ふるさとチョイス」及び萩市ホームページ「ふるさと寄付特設サイト」からお申込みいただけます。

※ ふるさと納税の返礼品としてご利用いただく場合、確定申告を行うことで、寄附額のうち2,000円を越える部分について、所得税と住民税から原則として全額が控除されます。(所得等による一定の上限はあります。)

○郵便局のみまもりサービスに関するお問い合わせ先

【受付時間 平日 9:00～21:00 土・日・休日 9:00～17:00】

(固定電話から) 0120-23-28-86 (フリーコール) (携帯電話から) 0570-046-666 (通話料有料)

直接のお申し込みも可能です! (ふるさと納税でない場合)

お問い合わせは、萩郵便局(総務課)まで! 電話 0838-22-0681

広島指月会

広島地区の萩高同窓会。

7月20日(土) 午後3時
広島市南区的場(広島駅から徒歩5分)

ホテルセンチュリー21広島
(090・4659・2164) 北東

■「山口伝統工芸新作展(選抜展)」
野坂和左、岡田泰、渋谷英一(萩市)の作品が入選しました。

4月30日(火・祝)〜5月6日(月・祝)
広島県広島市中区基町6・27
さこう広島店 美術画廊
(082・225・2111)

■「水津和之 茶陶展」
水津和之の個展。

6月11日(火)〜16日(日)
広島市中区胡町5・1
広島三越 7階美術画廊
(082・242・3111)

山口県関係

つばき会山口支部

山口地区の萩商工同窓会。
6月29日(土) 午後6時30分
山口市湯田温泉4・5・2

新規(再)加入会員

嶋口美智子 (大阪府大阪市)
福永紘子 (大阪府大阪市)
坂口由利子 (神奈川県厚木市)
鈴木衣織 (神奈川県厚木市)
(2月21日〜4月20日) 4人

ホテルかめ福

(0838・920・8377) 山根

■「山口伝統工芸展2019巡回展」
野坂和左、岡田泰、渋谷英一(萩市)の作品が入選しました。

5月9日(木)〜14日(火)
下関市竹崎町4・4・10
下関大丸7階文化ホール
(083・232・1111)

萩市関係

「渋谷英一展」

現在形の陶芸 萩大賞展Ⅳ 大賞受賞記念。

4月2日(火)〜6月30日(日)
萩市平安古586・1
山内県立萩美術館・浦上記念館
陶芸館展示室8
(0838・24・2400)

■「松陰先生大集合!」肖像が語る吉田松陰展
吉田松陰没後160年記念。

4月12日(金)〜12月2日(月)
萩市椿東1537
松陰神社宝物殿 至誠館
(0838・24・1027)

■「ワイレッジ」ロバータ・ガンバリニ
現代屈指の正統派ジャズヴォーカリストのロバータ・ガンバリニ、ピアニストのジェブ・パットンによるコンサート。

5月18日(土) 午後6時〜午後8時(入替)、8000円(各回)
萩市土原291・1

喫茶ワイレッジ

(0838・25・6596)

■「女流作家四人展in猫寺」
ね「展」
止原理美(土和憲)、伊藤真波(工房風)、森野悦子(黄孫憲)、古屋郁の作品。

5月23日(木)〜28日(火)
午前10時〜午後4時
萩市吉部上2489
雲林寺(ネコ寺) 駐車場別棟
(08388・6・0307)

■「久坂玄瑞」
松下村塾で高杉晋作とともに「竜虎」と並び称せられた長州藩の俊英・久坂玄瑞の伝記、ミネルヴァ日本評伝選。著者は一坂太郎(萩博物館特別学芸員)。

定価 3500円(税別)
出版社 ミネルヴァ書房
(075・581・5191)

出版情報

■「萩ものがたり春の新刊」
61号「高杉晋作 人とことば」
高杉晋作が残した文章や史料をもとに彼の生涯と歴史的役割を追い、人間・晋作の全貌に迫る。

著者は関厚夫(産経新聞東京本社 編集局編集委員)。
定価 620円(税込)
62号「山田顕義と萩」
近代日本陸軍の創設、法典編纂の主導、日本大学の創立など近代国家建設に尽力した山田顕義の生

涯を紹介。著者は松原太郎(日本大学 企画広報部広報課)。

定価 620円(税込)
申込 一般社団法人萩ものがたり
(0838・25・3233)

テレビ・ラジオ

■「開運なんでも鑑定団」出張!

なんでも鑑定団in萩
放送日 5月14日(火) 午後8時
54分〜9時54分
放送局 テレビ東京系列局

放送日 5月16日(木) 午後7時
55分〜8時55分
放送局 BSテレビ東京
(山口県内での放送日は未定)

(問) 萩・明倫学舎
(0838・21・2018)

お知らせ

■「萩ネットワーク」意見・感想の募集
今後の紙面づくりの参考にさせていただきますため、「萩ネットワーク」に対するご意見やご感想をお寄せください。電話、ファクス、メールで受け付けています。

電話 0838・25・3233
FAX 0838・26・5458
メール
hagi-network@city.hagi.lg.jp

プレゼント

山口県立美術館「下瀬信雄展」のペア招待券を5名様に。

編集後記

山口県立美術館で萩市出身者の回顧展が開催されるのは、萩市山田出身の「没後50年松林桂月展」(2013年)以来、現役作家の個展は初めてという。

下瀬さんは、科学少年だった、と写真集「萩の日々」にある。少年の目を忘れずに、植物、昆虫など生物を科学者のように冷静に見つめている。作品タイトルにも客観的な視線が感じられる。下瀬さんの視線により、何気ない日常がかけがえのない一瞬へと変わる。

・ロードムービーの佳作を2本。アカデミー作品賞の「グリーンブック」。黒人ピアニストが差別の残る米南部での演奏旅行にイタリヤ系の用心棒を雇う。対照的な二人が旅の中で人種の壁を越えた友情を育む。イーストウッドの新作「運び屋」。仕事一筋に生きてきて家族に見放された90歳の男が、麻薬の運び屋をやる実話がベース。罪を引き受けることで、家族との絆を取り戻す。

ジョン・フォード以来、米国映画の底流にあるのはゴー・ホーム(家族のもとへ還る)。
(広報特別参加 山本章三)

ふるさと情報紙「萩ネットワーク」

萩ネットワーク協会 ☎0838・25・3178

全国のネットワーク会員に、年6回隔月で郵送
発行月 1・3・5・7・9・11月号
(1994年10月創刊)
会費 一般2,000円、特別賛助10,000円
会員数 1,557人(2019年3月末現在)

イベントカレンダー

萩市観光協会 ☎0838・25・1750

5月1日(水)～5日(日) 9:00～17:30

◇萩焼まつり 萩市民体育館

5月3日(金)～4日(土) 10:00～15:00

◇萩・大茶会 指月公園・旧久保田家住宅ほか

5月3日(金)～4日(土) 10:00～16:00

◇萩往還まつり「技・明木展」
乳母の茶屋周辺

5月11日(土)～5月12日(日) 10:00～16:00

◇萩・夏みかんまつり
かんぎつ公園、旧田中別邸

5月19日(日) 9:00～15:00

◇浜崎伝建おたから博物館
浜崎本町筋周辺

6月1日(土) 17:30～22:00

◇ホテルまつり in やまだ 山田天神橋周辺

6月2日(日) 9:00～13:00

◇萩の和船大競漕 おしくらごう
玉江浦(橋本川下流)

トワイライトエクスプレス瑞風

萩への立ち寄り観光スケジュール

5月12日、6月2日・23日、7月21日・28日

いずれも日曜日

8:40 東萩駅到着/12:08 萩駅出発(予定)



山口県立萩美術館・浦上記念館だより

☎0838・24・2400

「フィンランド陶芸 芸術家たちのユートピア」

4月20日(土)～6月30日(日)

フィンランド陶芸の黎明期から黄金時代と呼ばれる1950～60年代までを体系的に紹介する画期的な展覧会。

同時開催「マリメッコ・スピリッツ フィンランド・ミーツ・ジャパン」

フィンランドを代表する生地ブランド、マリメッコを担う3人のデザイナーの代表作などを紹介。

■観覧料 大人1300円、学生1100円、70歳以上 1000円、18歳以下は無料

■休館日 5月7日(火)、20日(月)、6月3日(月)、17日(月)



■萩ジオパークフォトコンテスト(萩ジオパーク推進協議会)



最優秀賞「大海原へ向かう」原田剛志(萩市)

萩市椿東にある火山・笠山の溶岩と日本海の島々を収め、シャッタースピードを遅らせて撮影し、白波を幻想的に表現。

■萩まちじゅうフォトコンテスト 2018(萩市観光協会)

グランプリ「萩城からの花火」

峯田翔平(広島県)

萩城跡越しに夜空の花火を撮影し、堀の水面にも映っている。新しい視点を見つけ、淡い色の光も上手に取り入れている。



萩博物館だより

☎0838・25・6447

「描かれた萩の大地(ジオ)

～絵図にかくされた大地と人の物語～

「萩の夏みかん物語りⅠ」 3月16日(土)～5月12日(日)

5月18日(土)～6月11日(火)

萩の夏みかんは、明治維新の後、禄を失った武士の救済のために、武家屋敷地を利用して栽培が始まった。



「危険生物大迷宮」

夏みかん出荷ラベル

6月29日(土)～9月1日(日)

ハイブリッド生物「レオポン」や猛獣「ウルバリン」など剥製・標本・写真100点以上を大公開!

■観覧料 大人510円、高・大学生310円、小・中学生100円

■休館日 6月12日(水)～14日(金)